令和５年度第６回(通算 126 回)歩こう会

VISIT YAMAGATA HP

山形まち散歩ウォーク開催記

記　歩こう会幹事　萩原鉄雄さん
開催日　2023 年 9 月 1 日（木）
場所　山形市内
参加者　8 名

ベニバナ

９月の歩こう会は歴史を訪ねて９月 14 日(木曜日）山形市内を歩きました。
例年ですと 17 日に開催される山形名物の３万食提供の日本一の「芋煮会フェスティバル」開催時には秋の気配が漂う季節ですが、本日も 35℃近い暑さの中で行いました。
山形市・福島市・盛岡市は盆地の為東北三大温度の高さで名高いのですが今年の暑い日が続き 秋が遠いのは初めてです。
山交バスセンターで山形ブロックの斎藤さんの出迎えを受けた後 宮城ブロックより参加の７名は説明を聞きながら目的の場所に足を進めました。

★十日町 三の丸土塁跡　市街地に点在する山形城三の丸の土塁と堀跡です。

★山形まるごと館紅の蔵　江戸時代紅花商人だった長谷川家の旧家母屋と五棟の蔵で構成現在は食事処・街なか情報館・旬菜おいしさ直売所などになって営業しています。

お昼の食事は文祥館見学の後「紅山水」に引き返し山形名物ソバや芋煮定食などを味わいました。
紅の蔵の交差点に差し掛かった時八幡宮六椹八幡宮(むつくぬぎはちまんぐう)の前夜祭に遭遇しました。御神輿を担ぐ若衆も少なくなり、軽トラック 2 台に御神輿などが太鼓や笛などを流しながら神主さんと目の前を通り過ぎていきました。
御神輿を担いでの祭は時代の波で数年前より途絶えているそうです。

★七日町御殿堰（なのかまち ごてんぜき）　山形五堰の一つで中心街を流れている農業用水路です。
平成 22 年 4 月にせせらぎが見える水路として再生し歩道も整備されました。両側には蔵を活かした建物は各商店が営業をしています。S 夫人より米沢牛のコロッケを全員ご馳走になり一休みする。
道路の向かい側は現在も再生工事が行われているのが囲いの間より見えました。
山形城跡あたりまで続くのでしょうか？

山形五堰とは、笹堰（ささぜき）・御殿堰（ごてんぜき）・八ヶ郷堰（はっかごうぜき）・宮町堰（みやまちぜき）・双月堰（そうつきぜき）の五つの堰（農業用水路）の総称で約 400 年前に造られたといわれています。
馬見ケ崎川から（山形蔵王インターチェンジの上流部）一括取水され、西に向かって枝分かれを繰り返しながら市街地を流下していきます。市街地を網の目のように流れている堰は、全国でもめずらしく、山形市の景観の特徴であり歴史的財産です。（全長約 115km）山形市ホームページ

★山形県郷土館「文祥館」(旧県庁舎・県会議事堂)

建築は大正 5 年竣工の県庁舎と県会議事堂の２棟のレンガ造り英国近復興様式の建築物で国重要文化財に指定されています。

１１ 時間の時間を割いてじっくりと見て回りました。官選知事三島通庸(明治９年)から現在の公選知事まで 39 名の写真の展示当時の執務室の様子などいろいろの展示がなされていました。

映像コーナーでは時計塔の内部などもわかります。

バルコニーよりは七日町通りの建物が遠くまで一直線に見渡せました。

文祥館を見学の後食事の為「紅の蔵のそば処紅山水」で食事を終えた後、猛暑で体力を消耗したので仙台に帰りたいとの申し出あり、後半の予定を“歩く人”と“帰る人”にしました。

Y さんのお孫さんが楽天球団の始球式に仲間３名で出ると食事中話題になったため自宅に帰ってからテレビで始球式を観ました。

ボールの方向にハプニングもありました。

後半は山形城跡の公園内を散策しました。

VISIT YAMAGATA HP

★山形城跡　霞城公園(かじょうこうえん)

11 代最上義光公が拡大した山形城は全国有数の大きさで二の丸の堀や石垣にその面影が見られます。

義光公は 17 代伊達政宗の母親の兄で伯父さんにあたります。

城内には上杉景勝の重臣直江兼続が攻めてきたとき決戦の場に向っていく最上義光公の騎馬像が建っています。

公園内には約 1500 本の桜が咲き誇る山形市随一の桜の名所本丸一文字門や二の丸東大手門もあります。

二の丸東門の建物は入場して見学しました。

二の丸の堀の橋の上より景色を眺めている時電車が堀の脇を山形駅に走行していきました。その他歩兵第三十二連隊跡碑がありました。

二ノ丸東大手門　山形市 HP→

★山形市郷土館「旧済生館本館」

明治 11 年に県立病院として建築された明治初期の擬洋風建築物です。

中庭に面して 10 室の部屋があり外科など各部屋ごとに関係する当時の医療器具や医学資料などが展示されていました。

2 階講堂には螺旋階段で上がります。昭和 44 年七日町より移築工事がなされています。

山形市内にはまだ見ていない歴史のある場所がたくさんあります。

機会があつたら再度山形市を訪ねたいと思います。

最後に案内等いろいろとお世話になりました斎藤さん「有難うございました」